

ワークシート1

児童虐待

「ついイライラ・・・これって、親失格？」

こんなことありませんか？

小学校4年生のはるとさんは、最近、ゲームに夢中です。ある日のこと、はるとさんは、学校から帰ると、ランドセルを玄関に放り投げて、すぐにゲームを始めました。

お母さんは、「はるとさん、先に宿題や明日の準備をなさい。」と声をかけましたが、はるとさんはゲームに夢中で返事をしません。何回声をかけても、返事をしないでゲームをやり続けるはるとさんに、お母さんはイライラして、「いい加減になさい!」と怒鳴って、はるとさんの頬を叩いてしまいました。

はるとさんは、お母さんの顔をじっと見つめました。はるとさんの目から、涙がこぼれ落ちました。



ワーク1

あなたが、はるとさんのお母さんだったら、この後どうしますか？

.....

.....

.....

.....

ワーク2

子育てでイライラしたときの解消法を、考えてみましょう。

.....

.....

.....

◇他の方の意見をメモしましょう◇


いいね!


いいね!

今日気が付いたこと、わが家でもやってみようと思ったことは何でしたか？



今日からぜひやってみてくださいね。お疲れ様でした。



子育てでうまくいかないのは当たり前のこと。それが原因でイライラして、怒りが爆発してしまうことだってあるよ。そのせいで、子育てに自信をなくしてしまうこともある。でも、それは、誰にだってあること。音楽を聴いたり、誰かに相談したりして、イライラを解消する方法を見つけようね。一人で抱え込まないようにすることが大事だよ。

資料1

実践カード

イライラからニコニコへ 子育てイライラ解消法
「クールダウン大作戦！」



爆発寸前のイライラをクールダウン！

「深呼吸しましょう」

「6つ数を数えましょう」

「窓を開けて風に当たきましょう」

その他、自分なりの方法で！

子どもを健やかに育むために～愛の鞭ゼロ作戦～ 厚生労働省

わたしのクールダウン

月日	/	/	/	/	/	/	/
曜日	日	月	火	水	木	金	土
実践できましたか？							
今日のニコニコ指数	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊
子どもの様子							

感想

子どもを健やかに育むための5つのポイント

子育てにおいて、しつけと称して、叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長の助けにならないばかりか、悪影響を及ぼしてしまう可能性があります。以下のポイントを心がけながら、子どもに向き合しましょう。

POINT

1

子育てに 体罰や暴言を使わない

一見、体罰や暴言には効果があるように見えますが、叩くことによって得られた子どもの姿は、叩かれた恐怖によって行動した姿。自分で考え行動した姿ではありません。

「愛の鞭である」と親が思っても、子どもにとって大人から叩かれることはとても怖いことです。ちょっと叩かれただけ、怒鳴られただけでも、心に大きなダメージを受けることもあります。

子どもだからといって、暴力や暴言が許されるわけではありません。それに体罰や暴言は「虐待」へとエスカレートする可能性もあります。「叩かない怒鳴らない」と心に決めましょう。



POINT

2

子どもが親に 恐怖を持つと SOSを伝えられない

親に恐怖を持った子どもはどのような行動を起こすでしょうか。親に気に入られるように、親の顔色を見て行動するようになります。

また、恐怖を持つ親に対しては、子どもが心配事を打ち明けられなくなります。心配事を相談できないと、いじめや非行など、より大きな問題に発展してしまう可能性もあります。

POINT

3

爆発寸前の イライラをクールダウン

子どもが言うことを聞いてくれないときに、イライラすることは誰でもあること。でも、疲れていたりして、もともと抱えているストレス度が大きいと、子どものちょっとした行動（おもちゃの取り合い、すぐに動かないなど）をきっかけに、イライラが爆発してしまうことがあります。

イライラが爆発する前に、クールダウンするための、自分なりの方法を見つけておきましょう。



イライラしたときはクールダウン

深呼吸する、数を数える、窓を開けて風に当たるなど

POINT

4

親自身がSOSを出そう



育児の負担を一人で抱え込まずに、家族に分担してもらったり、自治体やNPO、企業などのさまざまな支援サービス（ファミリーサポート、家事代行サービス、一時預かりなど）の利用も検討しましょう。子育ての苦勞について気軽に相談できる友だちもできるといいですね。

POINT

5

子どもの気持ちと行動を 分けて考え、育ちを応援

子どもに「イヤだ!」と言われたとき、親自身が戸惑うこともあるでしょう。でも、2、3歳の子どもの「イヤ」は、自我の芽生えであり、成長の証しでもあります。「どうしたらいいかな?」と、子どもの考えを引き出し、必要に応じて助け船を出しながら、子どもの言い分を気長に聴きましょう。

「わがままな子になっては困る」という想いから、親は指示的に対応してしまうこともありますが、子どもの成長過程で必ず通る道だと大らかに構えて、子どもの意思を後押ししていきましょう。



児童虐待とは？

児童虐待とは？

児童虐待は、しつけ※とは異なり、子供の成長と人格形成に深刻な影響を与えるものです。次の4つのタイプがあります。

身体的虐待	性的虐待
<ul style="list-style-type: none"> ● 殴る、蹴る、おぼれさせる ● 家の外にしめだす など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子供への性的行為 ● 性的行為を見せる など
ネグレクト	心理的虐待
<ul style="list-style-type: none"> ● 子供を残して外出する ● 自動車の中に放置する ● 食事を与えない など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 言葉によっておどかさ ● 無視する ● 面前での家庭内暴力 など



※ しつけに際して、体罰を加えることは法律で禁止されています。

(体罰等によらない子育てに向けては、厚生労働省の作成した資料等を参照ください。)

- 体罰等によらない子育てのために～みんなで育児を支える社会に～

→ <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/taibatu.html>



子供にどんな影響を及ぼすの？

身体的影響

- 外傷、栄養障害、体重増加不良、低身長
- 発育・発達が遅れる可能性 など

知的発達面への影響

- 安心できない環境での生活などにより、知的発達が十分得られない可能性 など

心理的影響

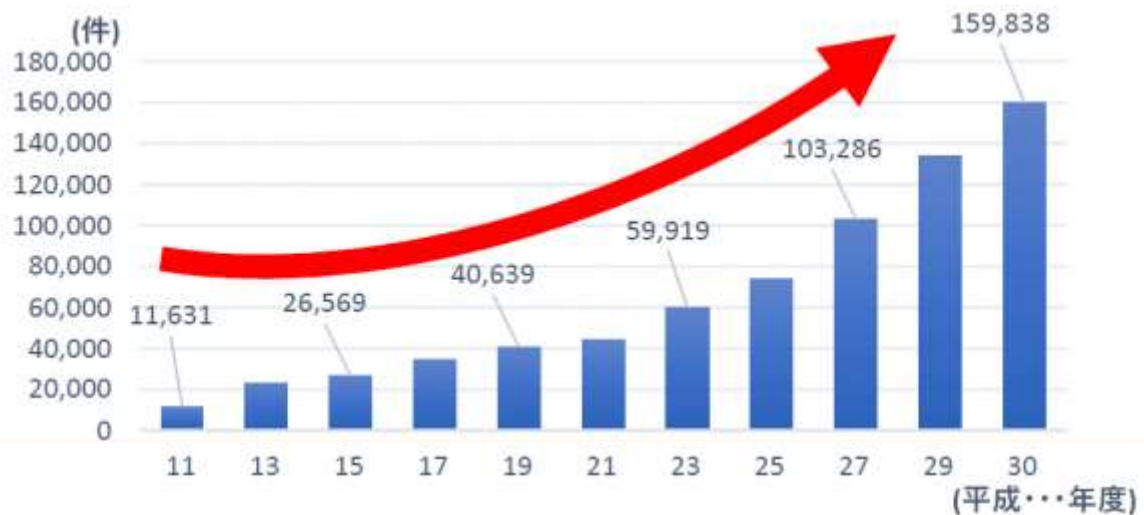
- 自己肯定感が持てない状態
- 対人関係における問題 など



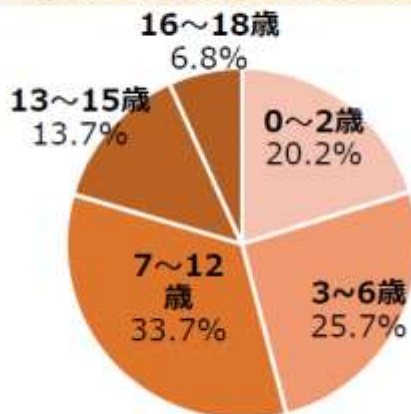
児童虐待の現状

児童相談所での児童虐待相談対応件数

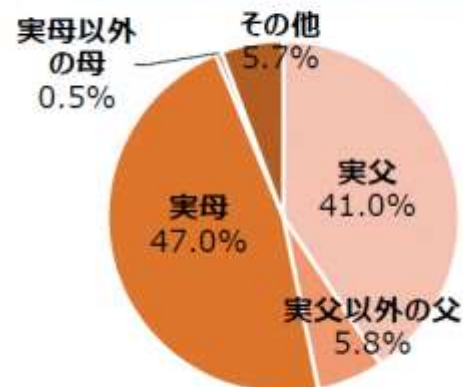
相談対応件数は、平成11年度に比べて平成30年度には、**約13.7倍**になっています。



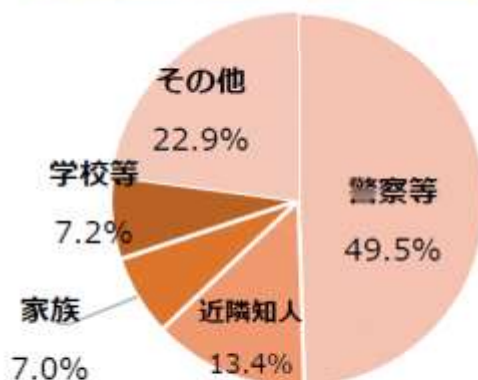
虐待を受けた子供の年齢



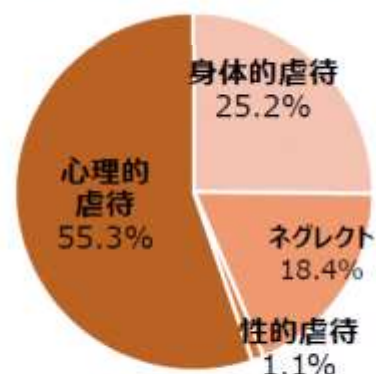
虐待をした主な者



相談の主な経路



虐待相談の内容



出典：平成30年度福祉行政報告例より作成

虐待かも？と思ったら

児童虐待のサイン

衣服やからだ
いつも汚れている

いつも泣き叫ぶ声
がする

子育てに拒否的・
無関心

不自然な傷や打撲
のあと

子供のけがについ
て不自然な説明

夜遅くまで一人で
家の外にいる

いつも怒鳴り声
がする



ためらわずに相談・通告を！

虐待かもと思ったら、子供の利益を一番に考え、ためらわず専門機関などに
通告（連絡）しましょう。通告した方に関する秘密も守られます。

児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。あなたの日本のお電話で扱われる子どもがいます。

児童虐待かもと思ったらすぐにお電話ください。

いち はや く
189

出席や子育てに関する悩みや質問がある方は、
児童相談所・市町村へお気軽にご相談ください。

連絡は匿名で行うことも可能です。
連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。
お住まいの地域の児童相談所につながります。
※一部のIPアドレスからはつながりません。



通告するときには何を伝えればいいのか？

わかる範囲で以下のような情報を伝えましょう。

- ◆ 子供・保護者の氏名、年齢など
- ◆ 外傷や症状（誰から、いつから、どのような）、
外傷・症状に関する子供本人の説明（あれば）
- ◆ 家庭の状況
（家族関係、きょうだいや家族についての情報）





出典：児童虐待への対応のポイント～見守り・気づき・つなぐために～

（文部科学省 https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/katei/1420751.htm）

進行案

ねらい

- 体罰や暴言は、子どもの成長の助けにならないばかりか、悪影響を及ぼしてしまう可能性があることを理解し、前向きに子育てに向き合うために大切なことを話し合ひましょう。

時間	進め方	留意点
10分	<p>はじめのことば</p> <p>「みなさん、こんにちは。本日は参加いただきありがとうございます。今日は『児童虐待』について考えましょう。」</p> <p>アイスブレイク</p> <p>「最初にみなさんで簡単なゲームを楽しみましょう。では、やり方を説明します。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆バースデーチェーン(誕生日の早い順に並ぶ) ◆ルールはひとつ(絶対話さない) ◆並び終わったら、順に名前と誕生日を言う。 	<p>◇笑顔で親しみやすい言動を心がける。</p> <p>小道具として「お茶」やちょっとした「お菓子」があると、やわらかい雰囲気を出し、話も弾みやすくなる。</p>  <p>◇「7 アイスブレイク④」参照。</p> 
30分	<p>3つの約束の確認</p> <p>「では、これから活動に入りますが、その中でみなさんに守ってほしい約束が3つあります。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆3つの約束を確認する。 <p>ワークショップ</p> <p>「まず、ワークシートをご覧ください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「こんなことはありませんか?」を読む。 <p><ワーク1></p> <p>「あなたがはるとさんのお母さんだったら、この後どうしますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ワークシートに考えをメモし、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・その場はそのまま離れ、落ち着いてから、話す。 ・叩いてごめんね。お母さんははるとが心配だったんだよ。 ・ゲームの約束を決めよう。 <p><ワーク2></p> <p>「子育てでイライラしたとき、どうしていますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ワークシートに考えをメモし、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・その場から離れてクールダウン。 ・音楽を聴く。 ・お母さんはあなたがいつも元気に過ごせるよう応援していると、思いを伝える。 	<p>◇「3 3つの約束」参照。</p> <p>◇家庭内の話題も出るため、信頼関係が大切であることを理解してもらう。</p> <p>◇「5 進行役について(1)子育てサロン型」参照。</p> <p>◇ワークシートにメモする時間がなければ、そのまま交流に入ってもよい。</p> <p>◇参加者が話しやすくなるよう、進行役が最初に困っていることや悩んでいることを話すもよい。</p> <p>◇時間配分を考え、全員に話す機会を与える。</p>
20分	<p>振り返り</p> <p>「今日の話合いを聞いて、よいと思ったこと、やってみようと思ったことは何ですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ワークシートに考えをメモし、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・クールダウンする。 ・応援メッセージを伝える。 <p>「いろいろな意見の中には、今日からいかせそうなヒントがありました。私は○○さんの△△という意見がなるほどと思いました。話し合うことで気持ちが軽くなった方もいらっしゃるでしょう。これからも積極的にこうした機会を活用してください。実践カードを使って家庭でもチャレンジしてみましょう。」</p>	<p>◇代表で1~2人に話してもらう</p> <p>◇時間があれば、資料2・3を配布し、読む。</p> <p>◇進行役が参加者と同じ目線で「こんなヒントをもらった」という話ができるとよい。</p> <p>◇資料1を配り、各家庭での実践を促す。</p>